



フェリー ヘグuri

- 総トン数:198.0トン ●航海速力:12.5ノット
- 旅客定員:258人 ●トラック4t×4台

時刻表

	柳井港発	平郡西発	平郡東発
平郡東行き (2便/日)	8:30 16:30	9:30 17:30	10:10 18:10
柳井港行き (2便/日)	6:00 14:00	6:40 14:40	7:40 15:40

※お盆期間は増便することがあります。
※増便の日程、臨時ダイヤについては平郡航路にお問い合わせください。



**フェリーヘグuri船長
松永 佳一**

平郡島で生まれ育った松永船長。28歳の若さで平郡航路船長の船長になり、常に安全第一で操縦しています。長年、島を去る人、島に帰って来る人、複雑な想いで見守り見送ってきました。今もこうして頑張れるのは、温かい島の人たちへの恩返しの気持ちがあるからです。

乗客	車
大人	3m以上 4m未満 4m以上 5m未満
1,540円	4,630円 6,180円

※上記区分以外の車両等の運賃についてはお問い合わせください。
※特殊車両・小荷物・手回り品料金はお問い合わせください。
※各種割引制度についてはお問い合わせください。
※車両の乗船については、柳井海陸にご予約ください。TEL0820-22-2551



柳井港ポートビル

柳井のまち並みのイメージである「白い漆喰壁、黒い杉腰板、瓦葺き」をデザインに反映した平屋建。

【航路】

- 柳井港⇄平郡島(柳井市):平郡航路(有)
 - 柳井港⇄祝島(上関町):上関航路(有)
 - 柳井港⇄伊保田港(周防大島町)⇄三津浜港(愛媛県松山市):防予フェリー(株)／周防大島松山フェリー(株)《オレンジラン》
- ※土日を除いて24時間運航。
※伊保田港経由は周防大島松山フリー便のみ。

問い合わせ先

平郡出張所……………TEL0820-47-2211
平郡西連絡所……………TEL0820-47-2311
平郡航路(有)……………TEL0820-22-7944
柳井市商工観光課……………TEL0820-22-2111

編集・発行:
平郡東地区コミュニティ協議会
デザイン・印刷:
phグラフィックス

HEIGUN

平郡航路

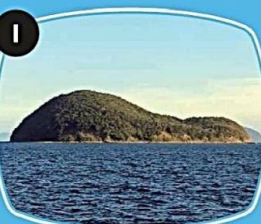
柳井港の南約20km、伊予灘の北側にある東西に細長い島、平郡島。
奈良時代に平城京に塩を納めた記録が残っており、1000年以上の歴史があります。
集落は島の東西に二つあり、それぞれ祖先が異なるとの言い伝えがある。
「蛇の池」、「五十谷」、「白鷺の鼻」など伝説にちなんだ地名等が残されており、島の歴史の古さを物語っている。

自然と歴史が育んだ島 平郡島へようこそ。

柳井港⇄平郡島
(35.46km/1時間40分)

Yanai-city
Yamaguchi-prefecture
Japan

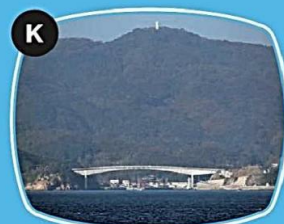
ROUTE



I 下荷内島
Shimoninaijima Island



J 池の浦
Ikenoura



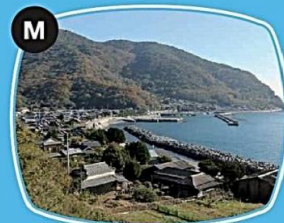
K 上関大橋
Kaminoseki-ohashi Bridge



L 赤石神社
Akaishi-jinja Shrine



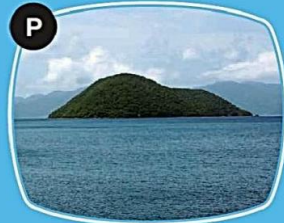
N 蛇の池
Janoike lake



M 平郡西港
Heigun-Nishiko Port



O 五十谷三島
Iyamashima Island



P 掛津島
Kakezushima Island



Q 平郡東港
Heigun-Higashiko Port

HEGURI

- Gross Tonnage:198.0ton
- Sea speed:12.5knots
- Capacity:258people
- Car carrier space:4ton truck×4





A 柳井港ポートビル
柳井発電所

B 裸島
般若姫伝説では、海に投げ出された水夫たちが命からがら裸で泳ぎ着いた島として語られています。
また、武蔵坊弁慶が琴石山に登り、足駄(あした)に挟まった大岩を蹴とばすと、瀬戸内海に落ち、それが裸島になったという伝説があります。

C 大島大橋
日本三大潮流のひとつ大島瀬戸に架かる大橋。

D 笠佐島
大島の瀬戸に身を投げた般若姫に、島の人が笠を捧げたことから、「笠捧げ島」と呼ばれるようになり、現在の「笠佐島」になったと伝えられています。

E 野島
スナメリに出会えるかも!

F 烏島
若山牧水の詠んだ歌が刻まれた歌碑があります。
「からす島 かげりて黒き 磯のいはに 千鳥こそをれ ござよれば見ゆ」昭和19年建立。1990年8月に作家村上春樹が一泊二日の冒険をしたと著書「辺境・近境」に書かれています。

G 日見
西長寺の阿弥陀堂に安置されている木造阿弥陀如来坐像(通称:日見の大仏様)。ヒノキ材の寄木造りで、漆箔着色。像高は284cmの丈六仏で、国指定重要文化財に指定されています。

H 上荷内島
いずれも海拔109mの無人島。周防大島町に属します。

I 下荷内島
いずれも海拔109mの無人島。周防大島町に属します。

J 池の浦(平家神社)
源平合戦の地。池の浦は、屋島の合戦(1185年3月22日)に敗れた平家の重勢の一部が室津半島にたてこもり、激しく戦ったという古戦場です。地中に埋もれていた刀剣・矢じりなどを掘り出し、それをご神体として祭り、平家大明神と称しました。

K 上関大橋
室津・上関間の海峡は170mで、防長の三海峡の一つ。付近には、旧砲台跡、毛利水軍本陣跡、城山跡などの史跡がある景勝地です。

L 赤石神社
大国主命、事代主命、少名彦命が祀られています。島の人からは赤石様と親しまれており、大きな赤い石が御神体となっています。特に腰から下の病に効能があると言われ、旧暦の6月10日には赤石祭りが行われています。

M 平郡西港
※国東半島が見えます。

N 蛇の池(蛇の池伝説)
源平の合戦の折、釈迦如来の使者である大蛇が美しい女性に化け、漁師の船で平郡島に渡った瞬間、池をつくり移り住んだという伝説があります。
「滴じゃというも粗末にならぬ ここは蛇の池の水」と後に俗謡にも謳われ、島の人は今もこの池の水を「神の水」として崇めています。

O 五十谷三島(五十谷海水浴場)
巖島の宮島様が、当初この地へ安住したい島の周囲を計ったところ僅かに長さが不足したので、「ここはいいや」と、現在の宮島へ移られたとの伝説があります。平郡三景に数えられ、景色・水質とも良好な海水浴場です。

P 掛津島
※四国が見えます。

Q 平郡東港
※四国が見えます。

手島(ハンドウ岩)

八島

平郡島
made in Heigun Yanai

0 1 2 3 4 5km